

オペラアリアと

W・A・モーツァルト作曲 歌劇

「コジ ファン トゥツテ」

(演奏会形式)

「原語上演日本語字幕付」

2023年 4月2日(日)
開場13:30 開演14:00

静岡音楽館AOIホール



東アジア
文化都市
2023 静岡県
Culture City of East Asia
2023 SHIZUOKA

主催 静岡県オペラ協会
後援 静岡県教育委員会 / 静岡県文化協会 / 静岡新聞社・静岡放送



小島 岳志 (こじま たけし)

愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻卒業。フルートを加藤敏(故)、峰岸壯一、村田四郎の各氏に師事。桐朋学園大学にて指揮を黒岩英臣氏に師事。大学在学中より指揮活動を始め、名古屋二期会・名古屋オペラ協会・三重オペラ協会・岐阜演奏家協会・名古屋芸術大学・四日市市民オペラ・三河市民オペラ・名古屋アクターズスクール(劇団ひまわり)など、東海地方を中心とした多数のオペラ・オペレッタ・ミュージカルの舞台公演に参加。名古屋市文化振興事業団企画公演においてはミュージカル『海の向こうへ』『ライト・イン・ザ・ピアッツァ』『ザ・ミュージック・マン』『Love Stage Concert』(セントラル愛知交響楽団)を指揮し、いずれも好評を得る。2018年静岡県オペラ協会50周年記念公演ではオフエンバック作曲「天国と地獄」(NPO静岡フィルハーモニー交響楽団)を指揮。同朋高等学校音楽科非常勤講師(合奏担当)。



環弦楽四重奏団

環弦楽四重奏団(クワンげんがくしじゅうそうだん)はヴァイオリン近藤由理、沼野朱音、ヴィオラ鈴木香奈江、チェロ生田奉子により2017年に結成。春の時期に行う定期コンサートを主体に各依頼コンサートなど多岐に渡る演奏活動をしている。静岡市主催「Hotひといきコンサート」出演、「まちは劇場パフォーマンスにえるを!」動画配信出演。
ホームページ: [https:// stringquartetinshizuoka.jimdo.com](https://stringquartetinshizuoka.jimdo.com)

創立55周年記念公演予告

この楽しく美しい音楽と物語が指揮者小島岳志氏に導かれる。
当協会員の歌唱と県内演奏家による管弦楽団の情熱的な音色、
それがさらにエネルギッシュな演出家伊藤明子氏によって
どこまでも小気味よく素敵な舞台になるに違いない。
皆様お楽しみに。

W・A・モーツァルト作曲
「コジ・ファン・トゥツテ」

(原語上演日本語字幕付き)

2024年6月8日(土) グランシップ中ホール

指揮 小島 岳志 演出 伊藤 明子

管弦楽 県内演奏家による祝祭管弦楽団

フィオルディリージ	横山 靖代
ドラベッラ	佐藤 典子
テスピーナ	小関 宏美
フェランド	市川 浩平
グリエルモ	大石 陽介
ドン・アルフォンソ	伊藤 尚人
合唱	県民合唱団
稽古ピアノ	津島 希美
	小澤 実々子

静岡県オペラ協会は県内音楽家の研鑽・発表の場として、また地域の音楽文化の向上に寄与することを目的に1967年に創立されました。今日まで地域に根差した公演活動を続けています。

県民による合唱団を募集結成いたします。(8月募集予定)

ごあいさつ

本日はご来場誠にありがとうございます。

この3年間は演奏家にとりまして厳しく過ごしにくい日々が続き、さまざまな工夫と我慢が必要でした。ここに大勢の皆様にお集まりいただきこのコンサートが開催できますことに感謝でいっぱいでございます。

私ども静岡県オペラ協会は来年創立55周年を迎え記念公演を予定しています。創立時、先輩方は『演奏技術の向上と地域文化の発展に寄与する』という目的を掲げました。そのオペラに対する情熱を受け継ぎ、会員は常に研鑽を積み、何より地域のお客様に喜んでいただける公演を目指していきたいと思っております。

本日はすべて原語歌唱に日本語字幕付き演奏といたしました。最後までどうぞごゆっくりお楽しみください。

今後の活動につきましてもご支援ご協力を賜り、またご意見などをいただければ幸いです。

静岡県オペラ協会会長 羽根田 敦子

第1部

歌劇「ルサルカ」より
《月に寄せる歌》

A.ドヴォルザーク作曲

ソプラノ 中武 紗織
ピアノ 津島 希美

チェコ国民楽派を代表するドヴォルザーク作曲の歌劇で、アンデルセン「人魚姫」などを基に台本が作られました。この曲は第一幕、水の精ルサルカが人間の王子への恋心を歌うアリアです。

歌劇「ファウスト」より
《この清らかな住まい》

C.グノー作曲

テノール 杉浦 久喜
ピアノ 小澤 実々子

文豪ゲーテの戯曲を原作にした歌劇。人生を後悔し、悪魔メフィストとの契約で魂と引換えに若返った老博士ファウストは、清純な乙女マルグリットに恋をし彼女の住まいを訪れます。そこでの感銘を歌うアリアです。

歌劇「マクベス」より
《哀れみも誉れも愛も》

G.ヴェルディ作曲

バリトン 田中 夕也
ピアノ 津島 希美

11世紀初期のスコットランドの物語。反乱を知ったマクベスが激昂する叙唱から始まり、魔女の予言を頼りに勝利を信じつつも、年老いた自らを憂い、これまでの行いを悔いるアリアへと繋がります。

歌劇「セビリアの理髪師」より
《今の歌声は》

G.ロッシーニ作曲

ソプラノ 百瀬 美樹
ピアノ 小澤 実々子

アルマヴィーヴァ伯爵とロジーナが、何でも屋のフィガロの協力を得て結婚するまでの物語。貧乏学生リンドーロ(伯爵の変装した姿)からの愛の歌を聴いたロジーナが、リンドーロとの恋を必ず果たせると決意し、華やかに歌い上げます。

歌劇「アレコ」より
《すべての天幕は寝静まった》

S.ラフマニノフ作曲

バリトン 伊藤 尚人
ピアノ 津島 希美

19世紀のジプシーの宿営地での物語。当時の文明社会に失望しジプシーの群れに身を投じているアレコの妻ゼムフィーラは、若い男と恋仲となりそれを夫に見せつけ、喧嘩の末天幕を出て行きます。この曲は、ひとり残されたアレコが妻への愛と苦悩を歌うアリアです。

第2部

W・A・モーツァルト作曲
歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」
 台本 ロレンツォ・ダ・ポンテ

フィオルディリージとドラベッラの二重唱
 「ああ、見てちょうだい、あなた」

フィオルディリージとドラベッラ、アルフォンソの三重唱
 「風が穏やかにありますように」

デスピーナのアリア
 「男たちに、兵士たちに」

フィオルディリージのアリア
 「岩が不動であるように」

フェランドのアリア
 「僕たちの宝物の愛の息吹は」

デスピーナのアリア
 「女も15歳になれば」

ドラベッラとグリエルモの二重唱
 「あなたにハートを差し上げます」

グリエルモのアリア
 「我がご婦人方、皆さんは多くの男をもてあそばれる」

ドラベッラのアリア
 「恋は小さな悪戯っ子」

フィオルディリージとフェランドの二重唱
 「もうすぐ抱擁の中へ」

アルフォンソ、フェランドとグリエルモ
 「男はみな女を責めるが私は許す」

フィナーレより
 「こんな出来事にあっても理性で切り抜ける人は幸せ者」

指揮 小島 岳志

フィオルディリージ 横山 靖代
 ドラベッラ 片岡 未来
 デスピーナ(ナビゲーター) 小関 宏美
 フェランド 市川 浩平
 グリエルモ 大石 陽介
 ドン・アルフォンソ 田中 夕也

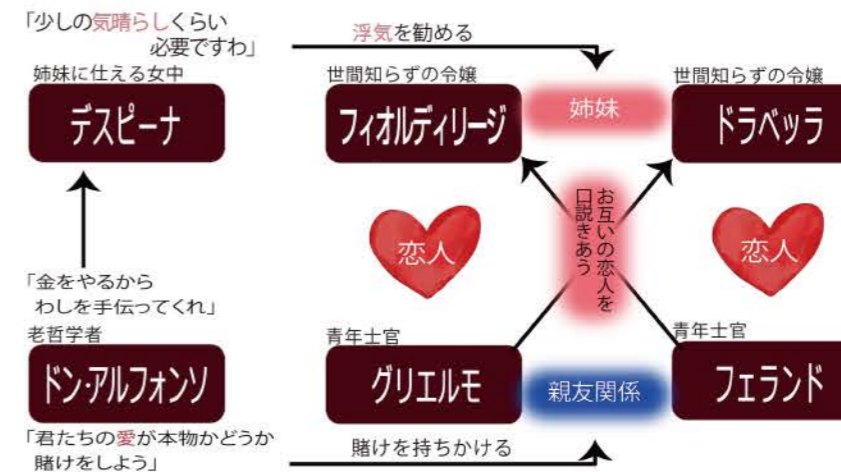
ピアノ 小澤 実々子
 津島 希美

環弦楽四重奏団
 第1ヴァイオリン 近藤 由理
 第2ヴァイオリン 沼野 朱音
 ヴィオラ 鈴木 香奈江
 チェロ 生田 奉子

制作スタッフ 佐藤 典子

「僕たちの恋人は浮気なんてしない!」と言うフェランドとグリエルモ。アルフォンソは笑ってそれを否定します。
 ならば、と3人は恋人が浮気をするかどうか"賭け"をすることに。

男二人が変装し、恋人を取り替えて口説くと、女性たちは忍ち恋に落ち、結婚の約束までしてしまいます。
 結局、最後には変装を解き、種を明かし、2組のカップルは愛を再確認。ハッピーエンドでオペラは終幕します。



歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」演奏会形式バージョン あらすじ

〈第1幕〉

舞台は18世紀のイタリアのナポリ。初老の哲学者ドン・アルフォンソから「どんな女も必ず心変わりをする。女の貞節など存在しない。」と断言された若き士官のフェランドとグリエルモは、恋人の誠実さを試す賭けの提案を受け入れる。その頃、彼らの恋人のフィオルディリージとドラベッラ姉妹は、彼らの姿絵をうっとり見つめながら「ああ、見てちょうだい、あなた」こんなに魅惑的な相手に恵まれて、心変わりなど有り得ないと語り合っていた。そこへドン・アルフォンソが現れ、彼女達の恋人が急遽戦場に行かなければならなくなったと告げる。(実は賭けの為の芝居の始まりである。)フェランドとグリエルモが船で旅立って行くと、姉妹は悲嘆にくれながら、ドン・アルフォンソと共に「風が穏やかにありますように」と恋人の無事を祈る。突然の恋人の出征に絶望している姉妹に、小間使いのデスピーナは「男たちに、兵士たちに」真心なんて有り得ないのだから、留守の間に女も楽しまなければと語りかける。ドン・アルフォンソは、デスピーナを買収し味方につけると、アルバニア人に変装したフェランドとグリエルモを姉妹の屋敷に招き入れる。いきなり求愛してくる男達を姉妹は拒絶し、フィオルディリージは自分の愛が揺るぎないことを「岩が不動であるように」と毅然とした態度で明言する。激怒する姉妹の様子に彼らは勝ち誇り、フェランドは「僕たちの宝物の愛の息吹は」と叙情的に愛を語る。

〈第2幕〉

デスピーナは「女も15歳になったら」男を相手に利口に楽しまなければと姉妹に助言をする。内心は男達が気になっている姉妹は彼らと和解の場を持ち、それぞれが気になっている相手と散歩に出掛ける。グリエルモは「あなたにハートを差し上げます」とドラベッラを口説くと、恋人フェランドの姿絵を外させ、自分の贈り物のペンダントと取り替えてしまう。一方のフェランドは、フィオルディリージを口説き落とすことは出来なかった。グリエルモは変わらぬフィオルディリージの誠実さに喜ぶも、ドラベッラの心変わりに怒るフェランドをなだめて「我がご婦人方、皆さんは多くの男心をもてあそばれる」と訴える。フィオルディリージが、実は異国人(変装したフェランド)を好きになってしまったとドラベッラに告白すると、ドラベッラは「恋は小さな悪戯っ子」と姉の気持ちを後押しするように楽し気に語りかける。しかしフィオルディリージは心の迷いを断ち切ろうと、男装してドラベッラと共に戦場の恋人に会いに行こうと決心する。「もうすぐ抱擁の中へ」と身支度をしているところへ、フェランドがやって来て熱烈に愛を語ると、とうとうフィオルディリージも屈伏して2人は抱き合う。その様子を陰から見ていたグリエルモは激怒。ドン・アルフォンソは、彼らに結婚式を挙げるように命じ「男はみな女を責めるが私は許す」と諭すと、3人は「女はみんなこうしたもの」と唱和する。結婚式の最中に若い士官達が急遽帰還して大騒ぎになるという茶番劇の後、2組のカップルは元の鞘に戻る。「こんな出来事にあっても理性で切り抜ける人は幸せ者」と物語は幕を閉じる。



中武 紗織 (ソプラノ)

静岡市立東中学校、静岡県立清水南高等学校芸術科を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。東京藝術大学オペラプロジェクト公演「ジャンニスキッキ」のネッラ役で、東京・富山公演に出演。大学在学中に東京レディーズシンガーズのオーディションに合格し、数々の演奏会に出演する。これまでに横山靖代、大島洋子の両氏に師事。現在、静岡県立清水南高等学校芸術科非常勤講師。静岡県オペラ協会会員。



百瀬 美樹 (ソプラノ)

静岡県立清水南高校芸術科を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。これまでに、後藤千恵子、原田茂生、木村宏子、平松英子、服部容子の各氏に師事。第1回「静岡の名手たち」オーディション合格。ペルゴレージ「スターバト・マーテル」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、シューベルト「ミサ曲」、ベートーヴェン「第九」などのソリストを務める。オペラでは「愛の妙薬」アディーナ、「フィガロの結婚」スザンナ、「カルメン」ミカエラ、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル役などで出演。現在、静岡県立清水南高校芸術科非常勤講師、静岡県オペラ協会理事。富士クラシック協会会員。



横山 靖代 (ソプラノ)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程修了。第4回静岡音楽館AOI「静岡の名手たち」合格、オペラ『小さな魔笛』にパミーナ役で出演。東京文化会館新進演奏家オーディション合格、同演奏会に出演。第12回チャイコフスキー国際コンクール(モスクワ)出場。第34回イタリア声楽コンクール金賞受賞。2022年3月「横山靖代ソプラノ・リサイタルX」を静岡音楽館AOIにて開催。第九、メサイア、カルミナ・ブラーナ等のソリストとして多数のオーケストラと共演。静岡県オペラ協会公演は「コジ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「カルメン」「天国と地獄」に出演。現在、常葉大学短期大学部音楽科非常勤講師、静岡混声合唱団ひびき常任指揮者、静岡リビングカルチャー講師、静岡県オペラ協会副会長、二期会会員。令和3年度静岡市芸術文化奨励賞受賞。



小関 宏美 (ソプラノ)

県立焼津中央高等学校卒業。在学中静岡県学生音楽コンクール声楽部門第1位受賞。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。大学卒業後は静岡県立高等学校音楽教諭として勤務の後、現在は県立島田高等学校・静岡福祉医療専門学校子ども心理学科各非常勤講師、SBS学苑静岡校講師。「第14回静岡の名手たち」オーディション合格、同コンサートに出演。静岡県オペラ協会の公演ではこれまでに、オペラ「あまんじやくとうりこひめ」「河童譚」、オペラハイライト「フィガロの結婚」「カルメン」、日本歌曲コンサート等に出演。また静岡県浙江省友好提携30周年記念事業として中国浙江省で開催された「第九」演奏会にソプラノロで出演。声楽を藤井京子・三林輝夫の各氏に師事。



片岡 未来 (メソソプラノ)

静岡雙葉高等学校卒業。静岡大学教育学部芸術文化課程音楽文化専攻卒業。静岡県オペラ協会創立50周年記念公演「天国と地獄」にてアンサンブルで出演。また、静岡県民ミュージカル「ノエル」「クラウンオブソフィア」「パルク」等に出演している。声楽を宝福英樹、横山靖代の各氏に師事。現在、静岡市立中学校に勤務をしながら、演劇やミュージカル等の舞台活動を行っている。



杉浦 久喜 (テノール)

静岡県立焼津中央高等学校、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。これまで県内を中心にオペラやコンサートに出演する中、合唱指揮者として混声コーラスら・らら(藤枝市)、混声合唱団グッドフェロー(島田市)、吉田町男声合唱団、吉田混声合唱団、コールマリン(牧之原市)、プリランテ(御前崎市)の指導と袋井市月見の里学遊館、吉田町ドリーム、牧之原市市制及び市制10周年での第九の合唱指導及びテノールソロを務める。その他、志太ミュージカル第5回公演「不思議はどこにでも〜キツネレモンの物語」2005年、歌劇「東海道中膝栗毛」2021年等の作曲も手掛ける。今後、見崎悟史氏の台本による自作と齋藤大輝氏の作曲作品を中心に「歴史歌劇プロジェクト」を展開していく予定。藤枝市在住。



市川 浩平 (テノール)

静岡県藤枝市出身。叙情的で軽やかかつ繊細な表現を得意とするテノール。東京藝術大学卒業(松田トシ賞等多数受賞)。同大学院オペラ科修了。その後1年間渡伊。二期会オペラ研究所マスタークラス修了(最優秀賞、川崎静子賞)。日伊声楽コンクール第3位、奏楽堂日本歌曲コンクール第3位、日本音楽コンクール入選等多数入賞。オペラでは二期会において「アルチーナ」オロンテでデビュー後、宮本亜門演出「魔笛」ではタミーノ、「天国と地獄」オルフェを演じる。また日生劇場主催「コジ・ファン・トゥッテ」ではフェランドを演じ高評価を得ている。またメサイア、第九など宗教曲でのソリストも務める。在住先の松戸市では「地産地消」をモットーに市民オペラ団体「まつどオペラ」を立ち上げるなど地域密着型オペラの普及にも力を入れている。二期会会員。



田中 夕也 (バリトン)

香川県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学別科声楽専修、同大学院音楽研究科オペラ専攻修了。学部卒業時にアカンサス賞、同声会賞受賞。第61期東京二期会オペラ研究所マスタークラス修了。第37回ソレイユ声楽コンクール第2位。モーツァルト作曲「魔笛」パバゲーノ、弁者、僧侶、「フィガロの結婚(抜粋)」バルトロ、アントニオ、プッチーニ作曲「ジャンニスキッキ」シモーネなどを演じる。二期会ニューウェーブオペラ劇場「ヘンデル作曲「セルセ」にてアリオダテ役で出演し、二期会デビューを果たす。宗教曲では、ヘンデル作曲「メサイア」、ベートーヴェン作曲「第九」、フォーレ作曲「レクイエム」等のソリストを務める。これまでに声楽を中野勝美、多田羅迪夫、甲斐栄次郎の各氏に師事。二期会会員。



伊藤 尚人 (バリトン)

常葉大学短期大学部音楽科卒業。同大学専攻科音楽専攻修了。第50回福井巖賞受賞。第11回東京国際声楽コンクール大学生の部第2位。第12回東京国際声楽コンクール新進声楽家部門3位。第31回日本クラシック音楽コンクール一般の部第2位(1位なし)。同コンクール入賞者披露演奏会にてオーケストラと共演。第1回国際声楽コンクール東京新進声楽家部門第1位。第58回日伊声楽コンクール入選。東京・春音楽祭「イタリア・オペラ・アカデミーin東京2023」に参加する等、現在、様々な演奏会や公演に出演し研鑽を積んでいる。これまでに丸茂智以、羽山晃生、横山靖代各氏に師事。



大石 陽介 (バリトン)

香川県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、東京学芸大学大学院教育学研究科音楽教育専攻科を修了。これまでにオペラ「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ役、「ラ・ボエーム」マルチェロ役、「椿姫」ジェルモン役、「愛の妙薬」ベルコーレ役、「蝶々夫人」シャープレス役、鳥山妙子作曲「真夏の夜想曲」父役、「ある水筒の物語」僧侶役、ベートーヴェン作曲第九番、合唱幻想曲、モーツァルト、ヴェルディ、フォーレ作曲のレクイエムのソロとして出演。令和2年度島田市文化芸術奨励賞受賞。



津島 希美 (ピアノ)

武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。これまでに井花範子、横山千代子、後藤れい子の各氏に師事。合唱、声楽、器楽の伴奏者としてコンクール、コンサートに出演。静岡県オペラ協会では2001年より稽古ピアニストを務めるほか、合唱では「メサイア」「レクイエム」「第九」「カルミナ・ブラーナ」など多くのオーケストラ作品の練習ピアニストを務める。現在、常葉大学保育学部非常勤講師。静岡男声合唱団、コール・フェローニア ピアニスト。



小澤 実々子 (ピアノ)

静岡県立清水南高等学校芸術科音楽専攻を経て、静岡大学教育学部芸術文化課程音楽文化専攻を卒業。これまでに窪田由佳子、笹瀬一磨、根木真理子、迫昭嘉、後藤友香理、山下薫子の各氏に師事。静岡音楽館AOI主催 第19回「静岡の名手たち」オーディション鍵盤楽器部門に合格。2020年、静岡市文化振興財団主催「ショパン〜生涯の旅〜」シリーズにてリサイタルを行う。現在、藤枝順心高等学校非常勤講師、静岡大学教育学部研究支援員、OZAWA MUSICピアノ講師。ソロやアンサンブルで意欲的に活動している。